

令和7年7月31日

会員各位

日本産科婦人科学会 理事長 万代 昌紀
日本産婦人科医会 会長 石渡 勇
日本産婦人科感染症学会 理事長 早川 智

妊婦に対する新型コロナウイルスワクチン接種について

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から「5類感染症」に位置づけられることが決定され現在にいたります。それに伴い、厚生労働省が示す新型コロナウイルスワクチン（以下、新型コロナワクチン）を接種する対象から「妊婦」が削除されました（資料1）。

しかしながら、これはすべての妊婦に対し新型コロナワクチンを接種しないことを推奨したものではありません。

本学会は「日本における COVID-19 妊婦の現状～妊婦レジストリの解析結果」において、デルタ株の流行期に中等症 II と重症者が増加し、年齢 31 歳以上、妊娠前 BMI 25 以上、妊娠 21 週以降の感染、および呼吸器疾患など併存疾患が重症化リスクであったことを報告しました。（資料2）

新型コロナワクチン（メッセンジャーRNA ワクチン）については、妊婦への接種に関する調査結果が数多く示されており、ワクチンの安全性と、胎盤を通じた移行抗体（いわゆる母子免疫ワクチン）で出生児を守る効果が確認されています（資料3、4）。

また、オミクロン株に対する妊婦への新型コロナワクチン接種の重症化予防の有効性が証明され、Lancet 誌に掲載されました（資料5）。

さらに、世界保健機関（WHO）は、妊婦を「特別な配慮を要する集団」と認識し、少なくとも1回新型コロナワクチンを接種することを引き続き推奨しています（資料6）。

一方で、令和4年1月～8月の期間において、新型コロナウイルス感染症患者の重症化率・致死率が、妊婦を含む若年世代では低く抑えられていたという調査結果があり（資料7）この調査結果などをもとに、5類感染症に位置づけられることが決定されました。

以上のことから、すべての妊婦に対して一律に新型コロナワクチンを接種することは推奨しません。しかし、厚労省や専門学会が定める重症化リスクのある基礎疾患を合併している妊婦（資料8,9）には、引き続き接種が推奨されます。また、母子免疫（乳児への抗体の移行）効果を期待するなど、接種を希望する妊婦には接種が可能です。

妊婦に対する新型コロナワクチンの接種は、基礎疾患の有無、妊婦の希望などから、個別に対応していただくことになります。また、流行の再拡大が起こった時には、推奨度が変更される可能性があることに注意が必要です。

【参考資料】

資料 1. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に係る 新型インフルエンザ等感染症から 5 類感染症への移行について（令和 5 年 4 月 27 日 厚生労働大臣公表文書）

資料 2. 日本産科婦人科学会. 日本における COVID-19 妊婦の現状～妊婦レジストリの解析結果(2022 年 6 月 7 日付報告). https://www.jsog.or.jp/news/pdf/20220607_COVID19.pdf. Accessed Dec 2, 2024.

資料 3. 本会周産期委員会、周産期における感染に関する小委員会：
https://www.jsog.or.jp/news/pdf/2022_COVID19_questionnaire_research.pdf Komine-Aizawa S, et al., The vaccination status and adverse effects of COVID-19 vaccine among pregnant women in Japan in 2021., J Obstet Gynaecol Res. 2022 May 10. doi: 10.1111/jog.15285

資料 4. Simeone RM, Zambrano LD, Halasa NB, Fleming-Dutra KE, Newhams MM, Wu MJ, et al. Effectiveness of Maternal mRNA COVID-19 Vaccination During Pregnancy Against COVID-19-Associated Hospitalizations in Infants Aged <6 Months During SARS-CoV-2 Omicron Predominance - 20 States, March 9, 2022-May 31, 2023. MMWR Morb Mortal Wkly Rep 72(39):1057-1064, 2023. doi: 10.15585/mmwr.mm7239a3

資料 5. Villar J, et al., for the INTERCOVID-2022 International Consortium, Pregnancy outcomes and vaccine effectiveness during the period of omicron as the variant of concern, INTERCOVID-2022: a multinational, observational study, Lancet 2023; 401: 447–57

資料 6. WHO “COVID-19 advice for the public: Getting vaccinated”
<https://www.who.int/emergencies/diseases/novel-coronavirus-2019/covid-19-vaccines/advice>（最終 update 2024 年 10 月 8 日、 2025 年 7 月 7 日閲覧）

資料 7. 新型コロナワクチンの接種について（令和 5 年 8 月 9 日 第 49 回厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会資料）

資料 8. 厚生労働省. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第 10.1 版

資料 9. 日本感染症学会. COVID-19 ワクチンに関する提言（第 10 版）